

合計特殊出生率向上施策などに関する 研究報告

福知山公立大学
地域経営学部
医療福祉経営学科
大学院地域情報学研究科 教授

川島典子



【自己紹介】

?年 島根県松江市生まれ

1986年 同志社大学文学部社会福祉学科卒

産経新聞大阪本社社会部記者（現在、日本ペンクラブ会員）

フリーランスライター（JTB機関誌ヤングビート、新聞書評や連載記事等）

帰郷して結婚・2人の子どもを出産・子育て

2001年 母校の社会福祉学科の大学院へ 2003年3月社会福祉学修士取得

2007年～ 福岡の大学を皮切りに大学教員に。

一旦介護離職後、また母校の大学院（総政）へ政策科学博士取得

同志社大学ソーシャルウェルネス研究センター、新見公立大学准教授を経て

2020年～ 福知山公立大学教授、2024年同志社大学インクルーシブ防災研究センター（兼務）

【専門分野】【研究テーマ】

【専門分野】

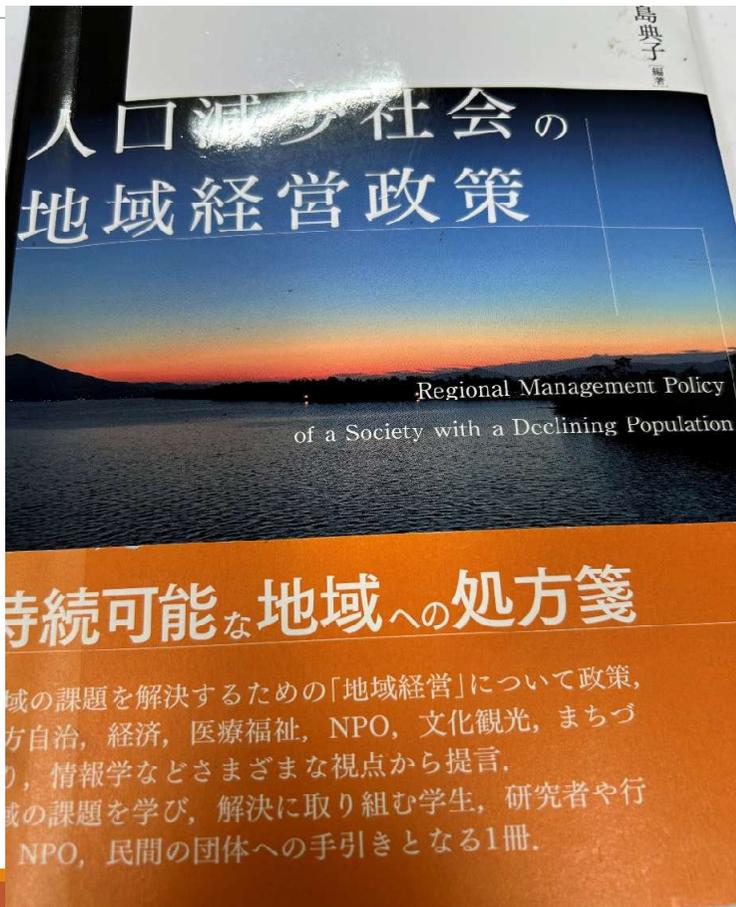
社会福祉学、政策科学

【研究テーマ】

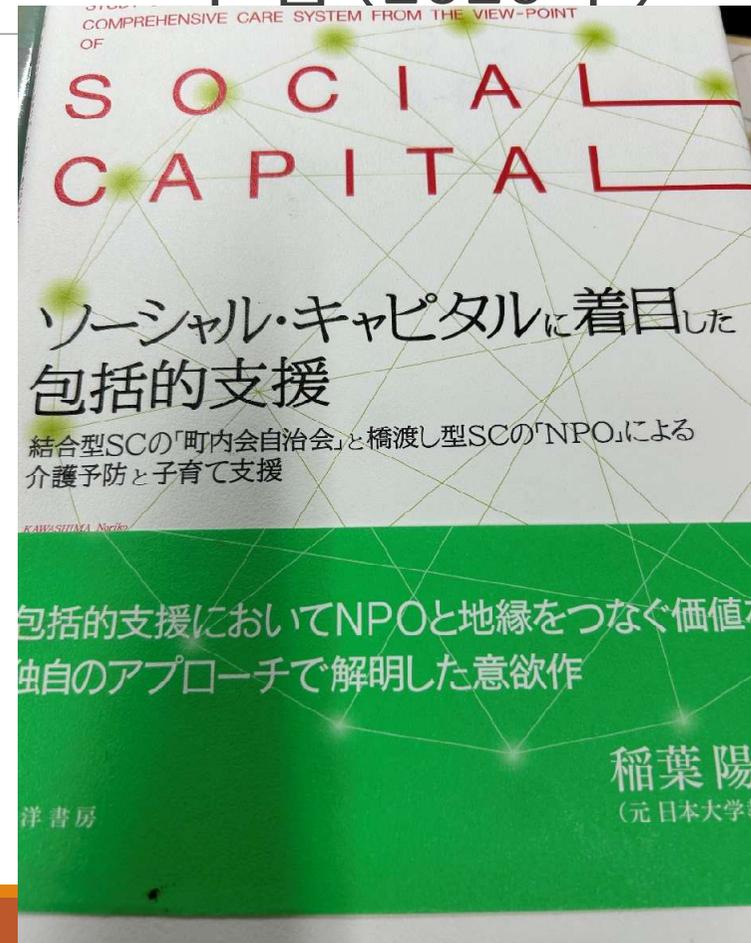
子育て支援、ジェンダー
介護予防、地域福祉（防災含む）、中山間地域政策、
ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）

主な著書

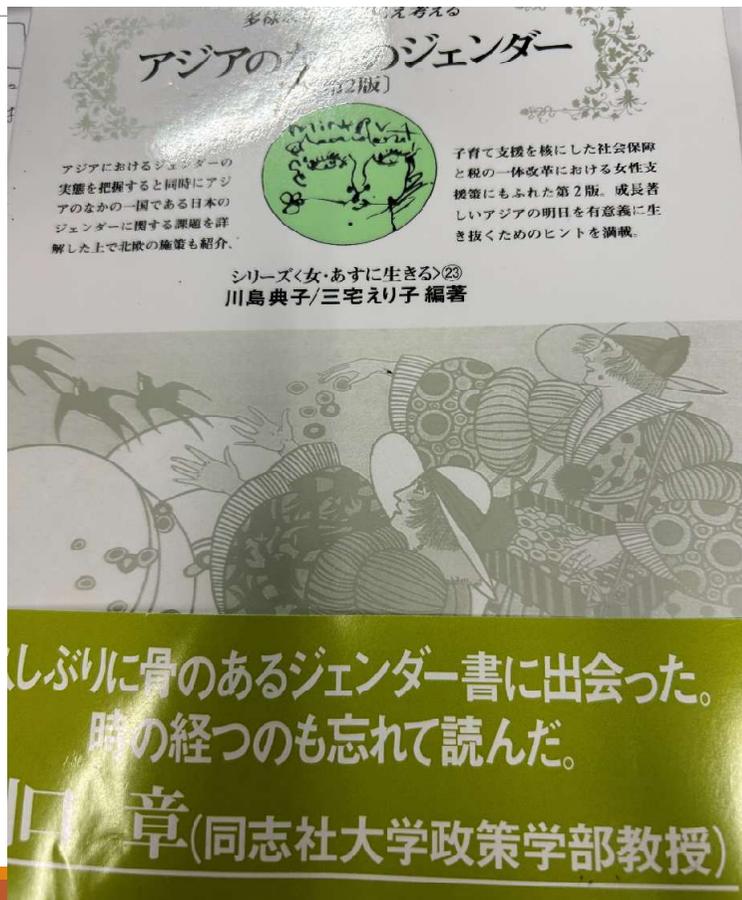
単編著(2022年)



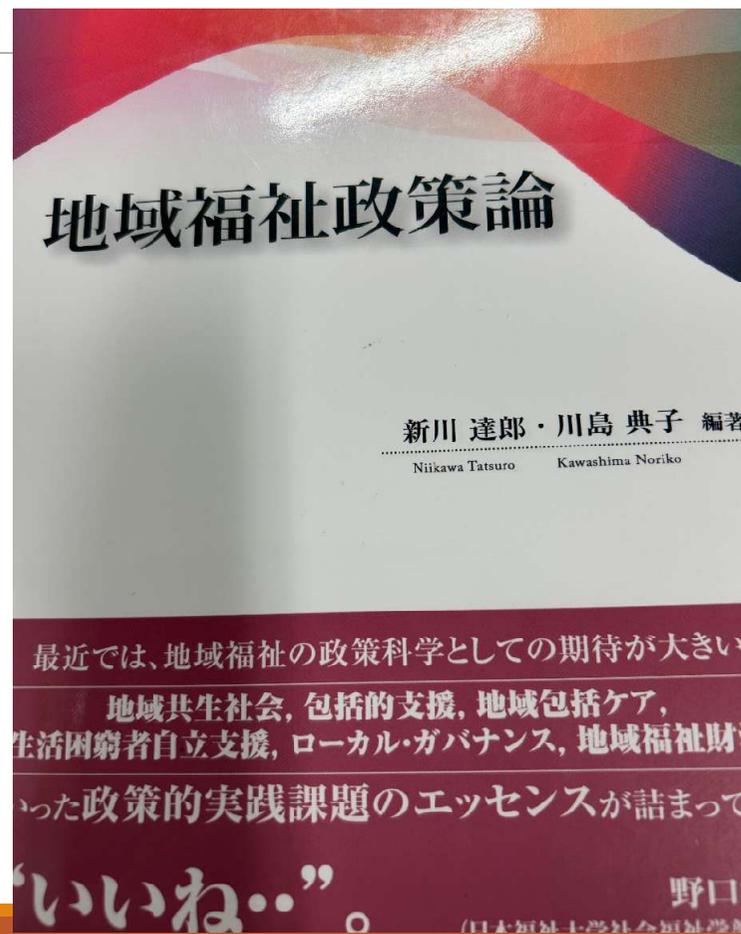
単著(2020年)



筆頭編著
(2012年、2015年、2020年)



編著(2019年)



福知山に赴任してから取得した主な研究費

【公的研究費】

（日本学術振興会）受託研究 2020年9月～2024年3月 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業「領域開拓プログラム」研究テーマ公募型 課題B「人工知能など高度化する情報社会におけるルールと公共性の問題」

研究課題「AIが介護保険行政を代行する際のルールに関する研究—地域経営とSCの視座から—」 **（研究代表者）** 取得金額：約1400万円

（日本学術振興会）科研費補助金（B） 2024年～2026年 研究課題「重層的支援における介護予防・防災機能付『独居高齢者の見守りロボット』の研究」 **（研究代表者）** 取得金額：1859万円

計 約3250万円の直接経費

ところで・・・「内閣府の先行研究」では

内閣府国民生活局(2003)『ソーシャル・キャピタルー豊かな人間関係の構築と市民活動の好循環を求めてー』独立行政法人国立印刷局

内閣府(2016)『ソーシャル・キャピタルの豊かさを生かした地域活性化』滋賀大学・内閣府経済社会総合研究所



ソーシャル・キャピタル(SC)の豊かな地域では「合計特殊出生率が高い」

SCが豊かな地域では「生涯未婚率が低い」



子育て支援にはSCが有効である可能性が高い

ソーシャル・キャピタル (Social Capital : SC) とは?

社会関係資本

社会における「信頼、規範(互酬性やルール)、ネットワーク」

地域に蓄積されるつながり

論者によって概念整理は様々

「個人レベル」と「地域レベル」のソーシャル・キャピタル(SC)がある

パットナム(アメリカの政治学者)によって2000年以降、脚光を浴びるように・・・

SCが豊かな地域は住民が健康で、犯罪や子供達の非行が少なく成績も良く、政治も安定している(日本1は長野・2位は島根、ワースト1は大阪・2位は福岡)

ソーシャル・キャピタルの代表的な下位概念

結合型ソーシャル・キャピタル

自治会等に代表される地縁の結びつき等
大学の同窓会のつながり等の強い結びつき
組織内部の人と人の同質的な結びつき
内部に信頼や協力を生む
強い絆・結束によって特徴づけられる
内部指向的
閉鎖的で排他的な負の部分もある

橋渡し型ソーシャル・キャピタル

NPOなどに代表される町の外の人とのつながり
異質なものを結びつけるつながり
開放的・横断的
広い互酬性を生む
水平的な横のつながり
外部指向的

その他のSCの下位概念

連結型SC(リンク型SC. 結合型と橋渡し型の間位置づけられる)

垂直型SC(参加組織により分類・政治団体, 業界団体, 同業団体, 市民運動, 消費者団体, 宗教団体等. 内部に垂直的な上下関係のある団体)

水平型SC(参加組織により分類・ボランティアのグループ, スポーツ関係のグループやクラブ, 老人クラブ, 消防団趣味の会等. 上下関係のない水平的な関係の団体)

認知的SC(個人の心理的变化等に影響を与える規範・価値観・心情. 互酬性)

構造的SC(役割・ネットワーク・規範等)

京都府第1位・本州第3位 (2.02⇒1.8) 福知山市の合計特殊出生率はなぜ高い？

(内閣府の分析)

- ①親との近居が多い
- ②工業団地や北京都ジョブパーク(総合就業支援拠点)も立地していて、陸上自衛隊もあり、多様な業種が集積し雇用を生んでいるため、市内での就業が多い
- ③保育所が整備されている
- ④チェーン店が進出している
- ⑤子育て支援を行うNPOがワンストップサービスを担っている⇒橋渡しSCが豊か
- ⑥自主防災活動が盛んで地域のコミュニティの結びつきも強い⇒結合型SCも豊か

(京都府の分析)

- ①未婚率が低く若い年齢の出産が多い
- ②転入者が多い

京都府北部の合計特殊出生率はなぜ高い？

宮津市 ➡ 1.65 (2020年現在)

舞鶴市 ➡ 1.87

京丹後市 ➡ 1.73



いずれも京都府第2位グループ



(仮説) 京都府北部はソーシャル・キャピタル(SC)が豊かなのでは？
合計特殊出生率の高さとSCに関連があるのではないか？

仮説を検証する調査

(調査の対象)

宮津市と舞鶴市の全保育園・保育所・幼稚園子ども園の就学前児童を育てる全保護者

(調査の方法)

留置法による自記式アンケート調査:

お迎えの際にアンケートを渡し園職員が回収

(変数) : 質問項目

「あなたが住む地域は子育てしやすい地域だと思いますか」(変数名:子育てしやすい)

「あなたは現在の子育てに関する環境に満足していますか」(変数名:子育ての環境に満足)

SCIに関する代理変数(別表)

統制変数(性別・年齢・教育歴)

(分析の方法)

カイ二乗検定

ロジスティック回帰分析

ソーシャル・キャピタルの下位概念の 代理変数

下位概念	質問内容	変数名
結合型SC	あなたの地域の人々は、一般的に信用できると思いますか	地域内信頼
結合型SC	あなたは、地域で活動する組織や団体にどの程度参加していますか	地縁的な活動への参加
橋渡し型SC	あなたは、あなたの地域外の人々も、一般的に信頼できると思いますか	地域外信頼
認知的SC	あなたは、地域の人々は多くの場合、人の役に立とうと思いませんか	互酬性
認知的SC	あなたは、他の人々とどのような付き合いをされていますか	近所づきあい
構造的SC	あなたは、地域で活動する組織や団体にどの程度参加していますか	業界団体・政治団体等への参加

宮津市における調査

【宮津市の概要と調査時期・調査対象】

人口17,477人(2020年現在)

高齢化率42.12%

合計特殊出生率1.65

昔は北前船の寄港地として栄えた

漁村部と、福知山市大江町と面した中山間地域(奥宮津)の農村部の双方を合わせ持つ

日本3景の天橋立(写真)で有名

2020年9月～10月にかけて全園を対象に調査

調査対象数は360名(回収率79.1%)



調査の結果

①カイ二乗検定の結果

「子育てのしやすさ」と関連があったSC➡

「地域内信頼」(結合型SC)

「互酬性」(認知的SC)

「子育ての環境に満足」と関連があったSC➡

「地域内信頼」(結合型SC)

「町内会自治会への参加」(結合型SC)

「地域外信頼」(橋渡し型SC)

②統制変数(性別・年齢・教育歴)を投入した

ロジスティック回帰分析の結果

「子育てのしやすさ」「子育ての環境に満足」
のいずれにおいても有意な関連があったのは

「地域内信頼」(結合型SC)



都市部(京都市上京区京極学区)

準都市部(島根県松江市宍道地区)

農村部(鳥取県湯梨浜町)での結果と同じ

カイ二乗検定結果(p値)

SCの下位概念	代理変数	子育てのしやすさ	子育ての環境に満足
結合型	地域内信頼	0.000	0.000
橋渡し型	地域外信頼	0.200	0.005
認知的	互酬性	0.000	0.141
認知的	近所づきあい	0.193	0.251
結合型	町内会自治会への参加	0.341	0.000
橋渡し型	趣味の会への参加	0.473	0.302
橋渡し型	スポーツの会への参加	1.000	1.000
橋渡し型	NPOへの参加	0.289	0.289
垂直型	業界政治団体への参加	0.797	0.226
垂直型	宗教団体への参加	0.956	0.425

ロジスティック回帰分析の結果

「子育てのしやすさ」に			「子育ての環境に満足」と		
説明変数	関連する要因	オッズ比	説明変数	関連する要因	オッズ比
		95%CI			95%CI
年齢		1.764	年齢		0.787
性別		0.353	性別		0.777
教育歴		0.722	教育歴		0.718
地域内信頼		0.089	地域内信頼		0.292
互酬性		0.526	地域外信頼		0.698
		0.70~4.48			0.38~1.65
		0.07~1.77			0.20~3.10
		0.31~1.69			0.36~1.43
		0.04~0.21			0.14~0.60
		0.22~1.28			0.33~1.48

舞鶴市における調査

【舞鶴市の概要と調査時期・調査対象】

人口84,115人(2020年現在)

高齢化率30.7%

合計特殊出生率1.87

昔は海軍、現在は海上自衛隊の町として有名
岸壁の母で有名な引き上げ船の寄港地だった
市役所のある東舞鶴と西舞鶴では地域性が違う
市役所横に日本遺産の赤レンガ倉庫群がある

2021年2月～3月にかけて全園を対象に調査

調査対象数2000名(回収率34.5%)



調査の結果

①カイ二乗検定の結果

「子育てのしやすさ」と関連があったSC→

「地域内信頼」(結合型SC)

「町内会自治会」(結合型SC)

「地域外信頼」(橋渡し型SC)

「互酬性」「近所づきあい」(認知的SC)

「子育ての環境に満足」と関連があったSC→

「地域内信頼」(結合型SC)

「町内会自治会」(結合型SC)

「地域外信頼」「NPO」(橋渡し型SC)

「互酬性」「近所づきあい」(認知的SC)

②統制変数(性別・年齢・教育歴)を投入した
ロジスティック回帰分析の結果

「子育てのしやすさ」「子育ての環境に満足」のいずれにおいても有意な関連があったのは

「地域内信頼」(結合型SC)と

「互酬性」(認知的SC)と

「地域外信頼」(橋渡し型SC)



橋渡し型SCの代理変数と有意な関連→
初めて!

カイ二乗検定結果(p値)

SCの下位概念	代理変数	子育てのしやすさ	子育ての環境に満足
結合型	地域内信頼	0.00	0.00
橋渡し型	地域外信頼	0.00	0.00
認知的	互酬性	0.00	0.00
認知的	近所づきあい	0.00	0.00
結合型	町内会自治会	0.01	0.19
橋渡し型	趣味の会への参加	0.75	0.27
橋渡し型	スポーツの会への参加	0.92	0.59
橋渡し型	NPOへの参加	0.63	0.03
垂直型	業界団体への参加	0.36	0.09
垂直型	宗教団体への参加	0.34	0.09

ロジスティック回帰分析の結果

「子育てのしやすさ」に関する要因	オッズ比	95%CI
地域内信頼	1.94	1.17 ~ 3.21
地域外信頼	1.84	1.04 ~ 3.24
互酬性	2.80	1.63 ~ 4.81
近所づきあい	1.19	0.72 ~ 1.96
町内会 自治会	1.62	1.04 ~ 2.51
年齢	0.92	0.56 ~ 1.52
性別	1.12	0.39 ~ 3.25
教育歴	0.68	0.44 ~ 1.05

「子育て環境に満足」に関する要因	オッズ比	95%CI
地域内信頼	1.23	1.89 ~ 2.90
地域外信頼	2.22	1.42 ~ 3.48
互酬性	1.60	1.06 ~ 2.42
近所づきあい	1.23	0.82 ~ 1.85
NPO	1.05	0.71 ~ 1.53
年齢	1.23	0.80 ~ 1.89
性別	0.98	0.38 ~ 2.46
教育歴	0.66	0.46 ~ 0.95

考察

人口減少の著しい中山間地域 ➡ **元々、地縁等の結成型SCは豊か**
(地域の人や近所の人に支えられる子育て支援は既にあるはず)



地縁(結成型SC)以外のSCを豊かにして更にSCを豊かにするには？



例えば、**橋渡し型SCのNPOによる子育て支援**をしてみたらいい？



各市町村独自のSC政策が合計特殊出生率向上につながるはずです！

(例) 福知山市の 橋渡し型SCのNPOを活用した子育て支援の事例

NPO法人「おひさまと風の子サロン」

高合計特殊出生率の要因⇒I・Uターン者が多い→

地縁(結成型SC)のない子育て中の親は孤立しがち

⇒子育て支援サロン(写真)を平日の昼常時開設

(但し木曜午前は双子以上の子育て支援に特化)

→コロナ渦前から24時間ラインで子育て相談

コロナ後はサロンを休んだ時期もあったがラインでの相談受付は継続(クイックワンストップサービス)

橋渡し型SCの「NPO」が高合計特殊出生率に貢献

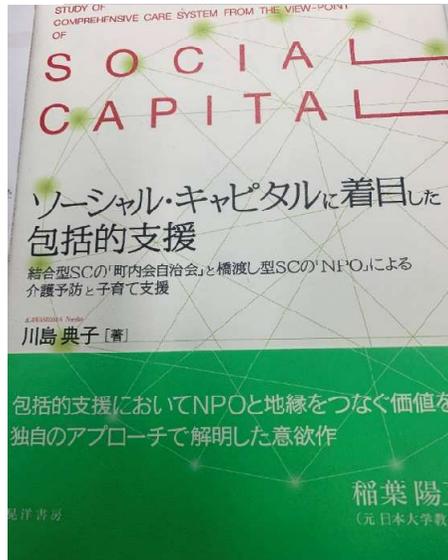


【結論および政策的含意と今後の課題】

【本研究の結論】

- ・京都府北部の高合計特殊出生率とSCには関連がある
- ・中山間地域は結合型SCは元々豊かであるが
橋渡し型SCも駆使した子育て支援を行っていく必要がある

(付記) その他の地域の SCを駆使した子育て支援の事例



SCには地域差がある

農村部・結合型SCが豊か

都市部・橋渡し型SCが豊か

居住地域のSCの特徴を把握して施策を練る必要

三重県伊賀市の事例(農村部)橋渡し型強化

町外の人が集う子育て支援サロンによる子育て支援

島根県松江市宍道地区の事例(準都市部)
NPOと地縁と行政との協働による子育て支援

京都市上京区の事例(都市部)結合型強化

自治会単位の地区社協による子育て支援

【参考文献】

川島典子編著（2022）『人口減少社会の地域経営政策』晃洋書房

川島典子（2022）「京都府北部における高合計特殊出生率の要因分析—ソーシャル・キャピタルの視座から—」『日本ジェンダー研究第25号』日本ジェンダー学会

川島典子（2021）「宮津市における子育てのしやすさに関連する要因—ソーシャル・キャピタルの視座から—」『福知山公立大学研究紀要第5巻第1号』福知山公立大学

川島典子（2020）『ソーシャル・キャピタルに着目した包括的支援—結合型SCの「町内会自治会」と橋渡し型SCの「NPO」による介護予防と子育て支援』晃洋書房

川島典子他編著（2019）『地域福祉政策論』学文社

川島典子他編著（2012・2015・2020）『アジアのなかのジェンダー』ミネルヴァ書房

近藤克則編著（2007）『検証健康格差社会 介護予防に向けた社会疫学的大規模調査』医学書院

福島慎太郎他（2009）「一般的信頼と地域内住民に対する信頼の主観的健康感に対する影響の比較」『環境情報科学論文集23』社団法人環境情報センター

イチロー・カワチ他（＝藤澤由和他監訳）（2008）『ソーシャル・キャピタルと健康』日本評論社

Kim D., Subramanian S. V., Kawachi, I. (2006) “Bonding versus bridging social capital and their associations with self-rated health: A multilevel analysis of 40 US communities,” *Journal of Epidemiology and Community Health*.

【参考文献】

内閣府（2019）『出生数や出生率の向上に関する事例集（今後のさらなる検討のために）』内閣府官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

内閣府（2016）『ソーシャル・キャピタルの豊かさを活かした地域活性化』滋賀大学・内閣府経済社会総合研究所

内閣府国民生活局（2003）『ソーシャル・キャピタル 豊かな人間関係の構築と市民活動の好循環を求めて』独立行政法人国立印刷局

京都府（2015）『京都府少子化要因実態調査』京都府健康福祉部少子対策課

【謝辞】

本研究は、学術振興会「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業・領域開拓プログラム(研究テーマ公募型)」研究テーマ「AIが介護保険行政を代行する際のルールに関する研究ー地域経営とSCの視座からー」の助成および「福知山公立大学北近畿地域連携機構研究助成(地域研究プロジェクト)」の助成を受けました。記して深謝申し上げます。

また、調査にご協力頂きました宮津市および舞鶴市の就学前児童の子育て中の保護者の皆様方に深く感謝致します。